

記事

[Mihoko Iijima](#) · 2021年8月23日 4m read

データベースファイルのサイズを圧縮する方法

これは [InterSystems FAQ サイト](#) の記事です。

データベースファイルとは、IRIS.DAT、および、CACHE.DATのことを指します。

Caché / Ensemble 2018.1.4、IRIS 2019.1.2 / 2020.1.0 以降のバージョンより、データベースファイルのサイズの縮小に、データベースの「圧縮」と「未使用領域の削除」機能をあわせて使用できます。

注意

Caché / Ensemble 2018.1.4、IRIS 2019.1.2 / 2020.1.0 より前のバージョンでは、データベースの「圧縮」機能は使用できません。使用された場合、データベース破損が引き起こされる可能性があります（「未使用領域の削除」機能は利用できます）。

詳細情報は以下、弊社ウェブサイト内のページをご確認ください。

[製品ニュースとアラート>警告: データベース圧縮またはデフラグ後のデータベース整合性の問題](#)

データベースサイズ縮小手順は以下の通りです。

管理ポータル：[システムオペレーション]>[データベース]
を開き、操作したいデータベース名をクリックします。

（または、画面左上の[空き容量]ボタンをクリックし、データベースの空き容量を表示します。）

「圧縮」ボタンにより、データベースファイルの使用していないブロックを後ろに集めます

<圧縮のイメージ> ●が使用中ブロック、○が未使用ブロックだとします。

●●●●○○●○○ -のようにブロックが並んでいるデータベースファイル (*.DAT) を「圧縮」すると

●●●●○○○○○ -このようになります（左が前方）

「未使用領域削除」ボタンにより、後方に集めた未使用ブロックを削除してデータベースファイルのサイズを縮小します。

<未使用領域削除のイメージ> ●が使用中ブロック、○が未使用ブロックだとします。

●●●●○○○○○ -のようにブロックが並んでいるデータベースファイルに「未使用領域削除」を実行すると

●●●● -このようになります

圧縮について詳細は、ドキュメント ([データベースの圧縮 \(IRIS\)](#)) をご参照ください (2018.1以前のドキュメント: [データベースの圧縮](#))。

管理ポータルでの操作と同様の処理を、[^DATABASE ユーティリティ](#)を使用して実行することもできます。

%SYS ネームスペースに移動してから実行します。

```
USER>zn "%SYS"
```

```
%SYS>do ^DATABASE
```

```
1) Create a database
2) Edit a database
3) List databases
4) Delete a database
5) Mount a database
6) Dismount a database
7) Compact globals in a database
8) Show free space for a database
9) Show details for a database
10) Recreate a database
11) Manage database encryption
12) Return unused space for a database    // ??????????
13) Compact free space in a database     // ???
14) Defragment a database                // ?DB ???????
15) Show background database tasks
```

Option?

「圧縮」 = 13) Compact freespace in a database
「未使用領域削除」 = 12) Return unused space for a database

[^DATABASE ユーティリティの 14\) Defragment globals in a database](#) (「DBの断片化解消」) について補足します。

「DBの断片化解消」では、指定したデータベースファイル内のグローバル毎にブロックが再編成され、データベースファイル内で連続領域に再配置します。

「圧縮」をより強力にしたものですが、この再配置を行う為には、データベースファイル末尾に十分な空きブロックが必要です (一般的に見て、デフラグを定期的に行う必要はありません)。

< 「DBの断片化解消」のイメージ >

断片化解消前

◆◆○▲▲○▲◆◆◆♥♥♥○◆◆♥♥◆○○○○○

断片化解消後

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆♥♥♥♥♥♥○○○○○○○○

注意

「断片化解消」機能についても、2015.1.3、2015.2.2 より前のバージョンでは使用できません。使用された場合、「圧縮」機能と同様に、データベース破損が引き起こされる可能性があります。

データベースファイルのサイズを圧縮する方法

Published on InterSystems Developer Community (<https://community.intersystems.com>)

詳細は、ドキュメント ([データベースのグローバルのデフラグ \(IRIS\)](#))
) をご参照ください (2018.1 以前のドキュメント : [データベースのグローバルのデフラグ](#)) 。

[#システム管理](#) [#ヒントとコツ](#) [#Caché](#) [#Ensemble](#) [#HealthShare](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%99%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%81%AE%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%82%BA%E3%82%92%E5%9C%A7%E7%B8%AE%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95>